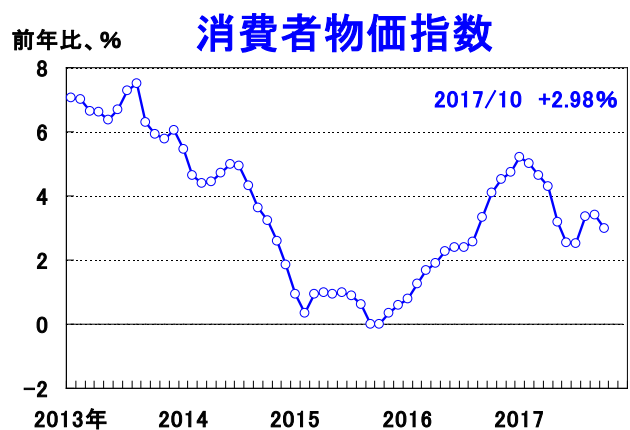
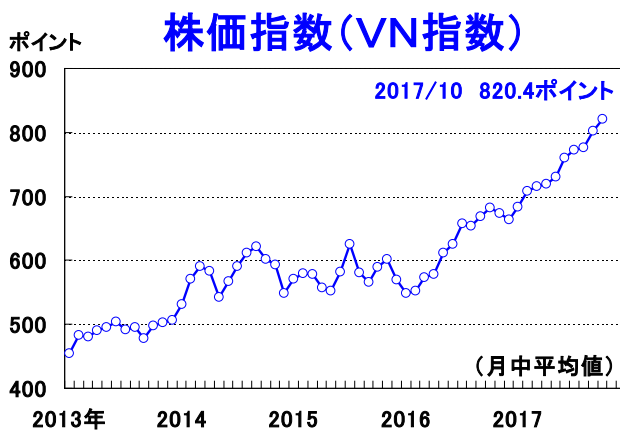
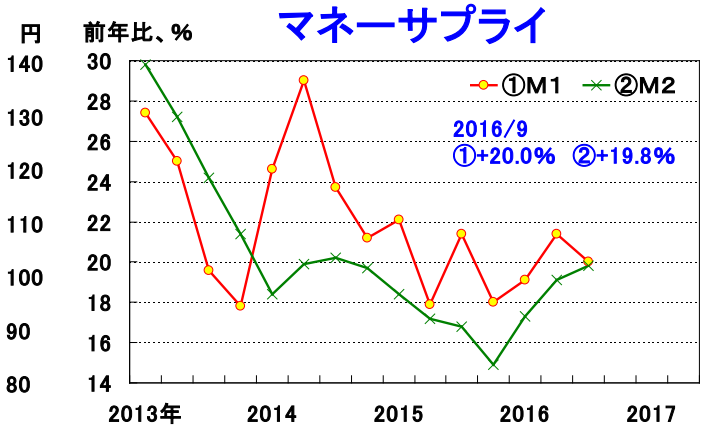
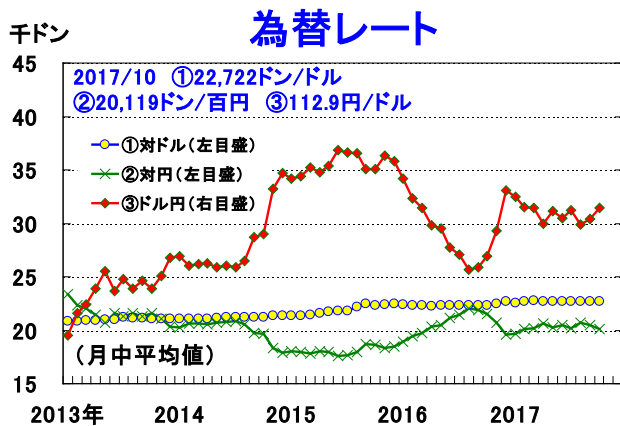
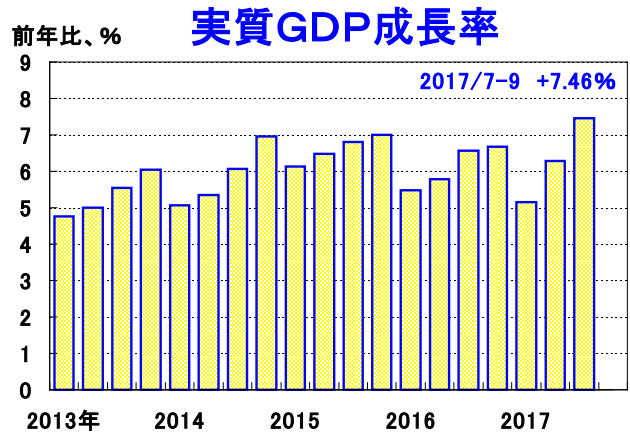
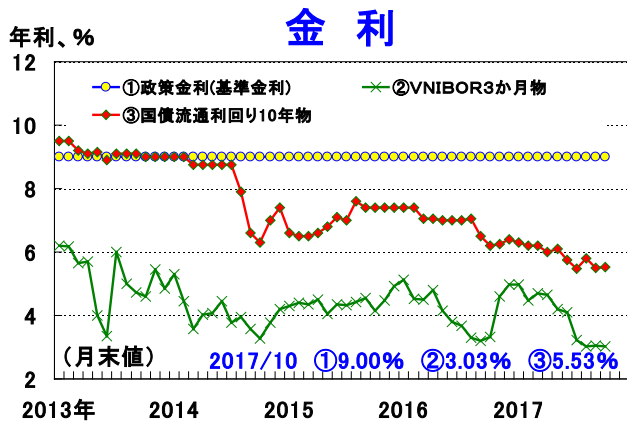


# グラフで見るベトナム経済 2017年11月号(No. 94)

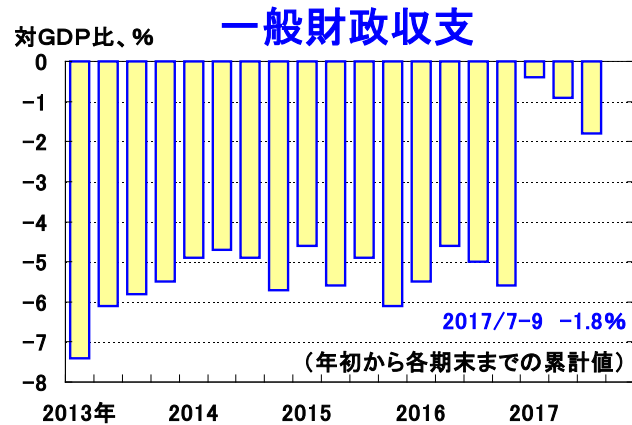
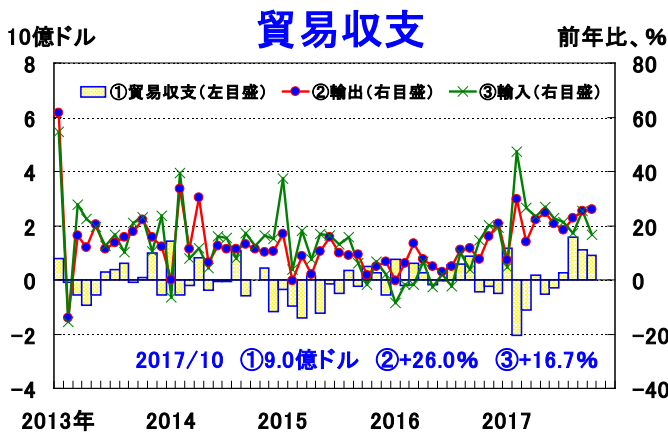
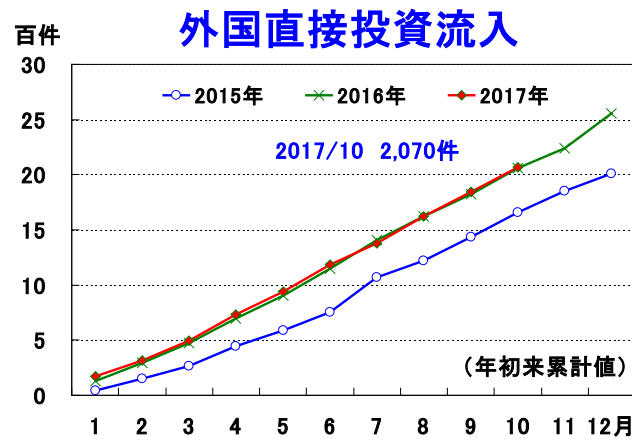
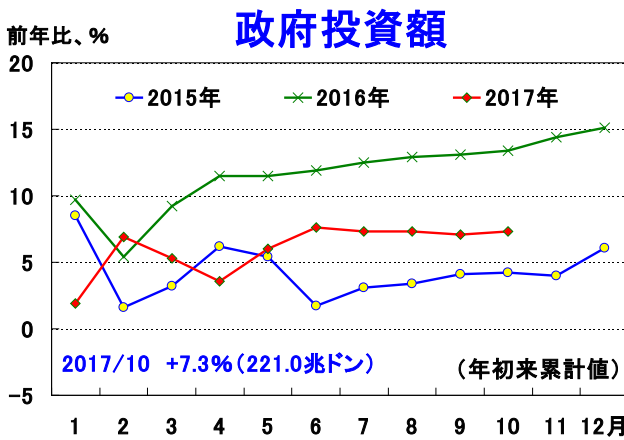
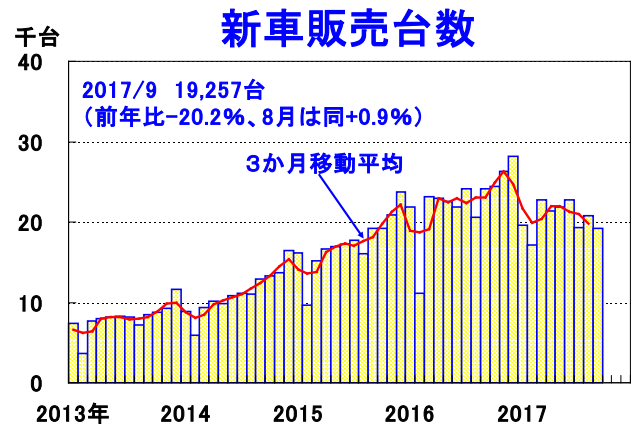
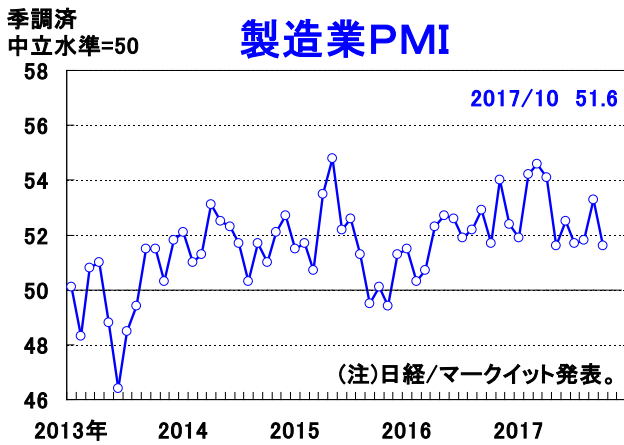
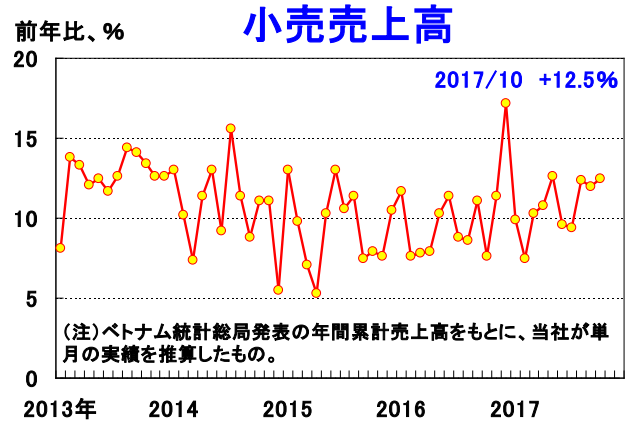
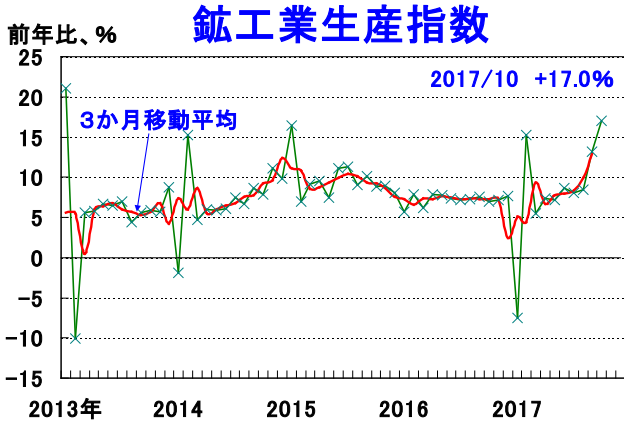
ベトナム景気は企業部門を中心に着実に回復している。すなわち、10月の輸出が前年比+26.0%(前月は同+25.5%)と中国向けの好調などにより、3か月連続で増勢が強まった。同月の鉱工業生産も同+17.0%(前月は同+13.2%)と、コンピューター、電子・光学製品(9月:前年比+44.5%→10月:同+69.8%)の大幅な増産などにより、5年弱ぶりの高い伸びを記録した。次に、家計部門をみると、9月の新車販売台数が前年比-20.2%と減少したものの、10月の小売売上高は同+12.5%(前月は同+12.0%)と堅調に増加している。



**【今月のトピック:ベトナム経済を牽引する輸出の拡大】** 2017年7~9月期のベトナムの実質GDPは前年比+7.46%と、4~6月の同+6.28%を上回った。サムスンを始めとした外資系企業の輸出が成長を牽引している。2017年1~9月のベトナムの輸出は1,543億ドル、前年比19.8%増と大幅に伸びている。世界の主力メーカーがベトナムの生産拠点を拡充している電話機器分野の拡大が続いているほか、パソコンなどの電子機器も好調に推移している。商工省の大臣によると、2017年の輸出は総額で2,020~2,050億ドルに達し、昨年の1,760億ドルを大幅に上回る見込みである。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。